

京都・吉田山から黒谷散策 活動報告

担当 5 班

黒谷周辺地域は「金戒（こんかい）光明寺」を中心に京都の歴史が刻みこまれています。幕末の京都は、暗殺や強奪が日常化し手のつけようのない状態になっており、徳川幕府は1862年に新しく治安維持にあたる京都守護職を金戒光明寺に置き、守護職には会津藩の藩主松平容保（かたもり）が任じられました。これを契機に、会津藩は新選組と共に新政府軍と鳥羽伏見で戦うことになりました。私たちは、吉田山から黒谷周辺の神社や寺院を訪ねましたが幕末の動乱期の光と影を身近に感じる事が出来る一日となりました。

1. 実施月日：2023年10月13日（金）

2. 集合時間・場所：10時00分・京阪「出町柳駅」を出て左側の広場

3. 参加者数： 71名

4. 解散時間・場所：14時30分・「聖護院八つ橋」の店頭

5. 行程：京阪「出町柳駅」集合→①百万遍知恩寺→②吉田神社→③吉田山展望台（標高 121m）→④吉田山山頂下公園（昼食・班長会）→⑤真如堂（真正極楽寺）→⑥会津藩士墓地→⑦金戒光明寺→⑧岡崎神社→⑨「聖護院八つ橋」の店頭 解散
(6.5km)

* 今回の散策は自主勉強のため訪問した神社や寺院の簡単な説明を入れています。



① 百万遍知恩寺



② 吉田神社



⑤ 真如堂



⑥ 会津藩士墓地



⑦ 金戒光明寺



⑧ 岡崎神社

- * ① 百万遍知恩寺：浄土宗の七大本山の一つで本尊は釈迦如来。御影堂では法然上人を祀る。1331年京都に疫病が蔓延した後醍醐天皇の勅により円空が念仏百万遍行い疫病を収めたことから「百万遍」の号が下賜された。手作り市や大念珠繰りは有名。
- ② 吉田神社：859年に吉田山の一角を占める地に平安京の守護神として創建されそれ以来厄除けの神様として親しまれている。室町時代から続く節分の追儺式（ついなしき）では数十万人の参拝者で賑わう。境内には八百万の神を祀る大元宮の社もある。
- ⑤ 真如堂：天台宗の寺院で正式には真正極楽寺で正真正銘の極楽の寺という意味。本尊阿弥陀如来像は女人を救う仏で「うなづきの弥陀」という別称。境内には。三重塔、山門、元三大師堂、鐘楼などの伽藍が並び、桜・紅葉・1000株のアジサイの名所。
- ⑥ 会津藩士墓地：金戒光明寺の山上にある会津藩士の墓地で、幕末から「鳥羽伏見の戦い」までの6年間に亡くなった会津藩殉職者352名を祀っている。本陣で働いていた女性のお墓もあり激動の京都の歴史を静かに物語っています。
- ⑦ 金戒光明寺：法然上人が比叡山を下り初めて草案を営まれた地に建てられた浄土宗最初の寺院。幕末には会津藩京都守護職の本陣が置かれたことで有名。約4万坪の大きな寺域に1000名の家臣が駐屯し京都の治安維持をはかりました。
- ⑧ 岡崎神社：子授け・安産・厄除けの神様。スサノオノミコト他を祭り平安京の鎮護のため桓武天皇が建立。ウサギが氏神さま

6. 参加された方の感想*秋晴れのもと、今回の神社・寺院めぐりは、静かに落ち着いて散策出来て良かった。
*事前に参考資料を頂いていたので、それぞれの見どころが堪能出来た。また桜や紅葉の最盛期に再訪したい。
*会津藩士の墓地では、遠く離れた京都の地で運命とは言え、殉職された方々は無念の涙を流されたことと思う